



農業女子育成中！

27年度より川村学園女子大学では、あびこ型「地産地消」推進協議会との地域連携のもと、大学所有の農地を利用した授業を実施しています。

前期は共通教育科目「農とくらし」、後期は栄養士を育成する生活文化学科の選択必修科目「農と地産地消」という授業です。

27年度は前期・後期合わせて延べ53名参加しました。予想を上回る参加人数で、いまどきの女子学生の土に触れることに対する抵抗の少なさに驚かされました。受講した学生からは「後期も取りたい」、「来年も取りたい」という声があがり、非常に好評でした。また欠席率が極めて少ない点もこの授業の特徴の一つでした。

28年度は学生の期待に応えるため、前期の「農とくらし」を午前の他、午後の二コマ設定するとともに、農地の面積を約3倍に増やしました。延べ65名が参加しました。27年度に比べゆったりとしたスペースで畑を耕したり、収穫ができました。

29年度も28年度同様に授業を実施し農業女子を育成する予定です。（29年度は、栄養士を育成する生活文化学科において、作物を育てることを学んだ学生が、育てた作物を調理したり、また商品開発をする初めての学年になります。）



2015年4月9日 遊休農地だったことと粘土質のため、最初は畝作りでかなり苦戦しました。



2015年5月21日 最初の収穫！小松菜の収穫をしました。



2016年6月2日広くなった農地で、ナスやトマトの剪定・誘引を行いました。

この件に関するお問い合わせは 事務部 熊谷 憲輝 電話 04-7183-0111 までご連絡ください。
